

# 進路だより

浜田水産高校

第7号 H28.11.25

進路指導部

セミナーへ行ってきました。

11月22日に浜田ステーションホテルで開催された「いわみ仕事再／新発見セミナー」へ出席してきました。島根県西部県民センターが主催したもので、高校生や大学生の地元企業への就職者を少しでも増やすために、企業と高校教職員及び高校のPTAが情報交換をしようというものです。企業・教職員・PTAが一堂に会して話し合うのは初めての試みということでした。

このセミナーにおいて、保護者からは「子供を就職させたい企業とは」、教職員からは「生徒に紹介したい企業とは」、という質問にたいして、「それなりの収入が得られること」、「福利厚生がちゃんとしていること」、「企業活動を通して人として育ててくれること」など、企業の方に本音を伝えました。また、企業からは「保護者や教職員に望むこと」として、「ちゃんとあいさつができる」、「ルールとマナーが守れる」、「明るくてまわりの人とコミュニケーションが取れる」など、このような生徒を育てて送り出して欲しい。との要望が多く出されました。学力の"が"の字も出てきませんでした。が、もっとも全く学力を必要としないのではなく、社会人として最低限の学力はあるという前提での話だと思います。いずれにしても、企業が求めているのは「あたり前の人」なのだと再確認しました。

若者の地元定着を図るためのガイダンスやセミナーなど、島根県や浜田市といった行政が行う事業は年間に何度もあり、可能な限り参加していますが、就職希望者の地元への就職率が8割を超える本校はいつも高く評価してもらえます。卒業生やその保護者さんのおかげで、地元貢献する浜田水産高校の存在を、少なからず感じてもらえているのではないのでしょうか。



## 進路選択の悩み

1・2年生の皆さんはこれから進路について考えていかなければいけません、「やりたい仕事が見つからない」、「自分がどんな仕事に向いているか分からない」、「どんな学校に進学したら良いか分からない」、「進学したいけど、どれくらい費用が必要か分からない。」など悩んでいませんか。就きたい職業や進学したい学校が決まっている人はもちろん悩んだりしないでしょうが、進路選択は自分の将来に大きな影響を及ぼすので、決まってない人が悩むのは当然です。迷うことは悪いことではありませんが、悩んでばかりで何もしないのは困りますね。

進路決定のために自分で考え、決断するためには情報という材料が必要となります。悩んでいる人はこれから情報集めに動き出さなければいけません。今は昔と違い、パソコンやスマホで情報は得やすい環境になっているはずですが、試しに少し検索してみてください。学校の情報や企業の情報がネット上にたくさんあるのが分かります。必要な情報を本気になって探して欲しいですね。

学校では進路に関する情報は進路指導室に集まってきます。進学先の学校や企業が発信した情報だけでなく、進学や就職した卒業生からの情報も集まります。これらはそこで学んだり働いている人による生の情報といえるので、きっと皆さんの参考になると思いますよ。

毎年3学期になると、進路資料室で進路情報を閲覧する2年生の姿がちらほら見られるようになります。我々進路指導部の教職員も手伝いますので、今年の2年生も情報収集のために進路資料室をぜひ利用して下さい。

## アメリカの大統領

大統領選挙の結果、アメリカの次期大統領はすてきなヘアスタイル(?)のトランプさんになりました。その後は株価が上がり円安も進んでいます。今後続くかどうか私たちには予想もつきません。TPPからアメリカが本当に脱退すると日本の経済と景気、そして求人倍率にはどんな影響が出るのでしょうか。アメリカの大統領選挙と本校生徒の進路には関係があったんだなあと、ちょっと驚きました。